

夢へ向かって

南中生の大会・コンクールへ向けた部活動風景



令和3年8月 第122号



あれは
どげなった？

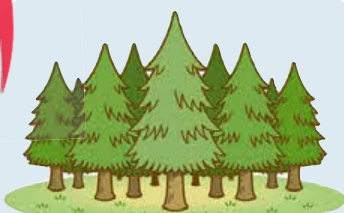


シリーズ No, 1

温泉館のボイラー

を追跡取材！

南小国町では、二酸化炭素の排出量削減・美しい里山の風景と生態系の保全を目的に、小国杉を循環利用する木質バイオマス（木材由来の再生可能な資源）を活用した再生可能エネルギーの導入が平成29年度に計画されました。令和元年度、約5100万円（国補助：2100万円）をかけて温泉館きよらに木質バイオマスボイラーを導入しています。



山の中では…



手入れ前



山師による作業



手入れ後

山では下刈り、枝打ち、除伐、間伐など人が手入れすることにより保全されています。曲がっていたり細い木材は資材としては流通しません。そういった木材をチップ加工用に集めています。



チップを作る工程



木材を破砕機にかけます



人の目で確認し、サイズが規格外の物ははずします



サイズが揃ったチップができます

木材は大きい物は割り、破砕機にかけます。
4センチ角よりも小さい物や大きい物は取り除き、
必要に応じて乾燥させます。水分量とサイズを
一定にすることで質の高いチップに仕上がります。



温泉館きよらでは…



必要量のチップが保管庫から
燃焼機へ自動で送られます



操作はタッチパネルなので
重油ボイラーに比べ簡単に

木質チップを使ったボイラーで温泉、給湯、暖房を賄っています。
チップは10tトラックで月に4～5回搬入しています。機械操作は
遠隔操作が可能なので、トラブル時のサポートもすぐに受けられます。



結果

従来の重油を使用するボイラーと比較すると、メンテナンス代が年間で約40万円かかりますが、燃料代は年に約100万円節減できています。
また、二酸化炭素の排出量も年107トン削減されます。
計画的に木を切ることで森林本来の機能（水を貯える、土砂の流出を防ぐ、二酸化炭素を吸収するなど）を十分に発揮することができます。

令和3年5月
第2回臨時会

●専決処分の報告

▼令和2年度一般会計補正予算(第15号) (承認)

▼令和2年度一般会計補正予算(第16号) (承認)

▼南小国町税条例等の一部を改正する条例の制定について

【主な審議】

▼井上議員 専決の理由は。

▽総務課長 国の改正が3月議会後になされたため。

(承認)

▼固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について (承認)

●工事請負契約の締結

▼庁舎別館建設工事

契約金額1億3563万円
契約の相手方 (株)橋本建設 (原案可決)

●物品購入契約の締結

▼自立式LED投光器

契約金額 1482万円
契約の相手方 三輝物産(株) (原案可決)

【主な審議】

○コロナワクチンについて

▼井上議員 75歳以上の申込み状況は。

▽町民課長 850名にご案内、5月11日現在で申し込み率が82・23%。

▼佐藤議員 申込みしていない方へのフォローは。申込み時のトラブルは。

▽町民課長 電話等で一軒ずつ確認中。当初予約の電話が繋がりにくかった。役場庁舎内に職員がお手伝いするウェブ予約用パソコン4台を準備。

▼矢津田議員 個人情報の取り扱い。

▽町民課長 小国町や(株)S

▽町民課長 小国町や(株)S

(万円)

補正予算 主な事業

一般会計(第1号)	原案可決
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業対応業務委託	78
農業用施設災害応急措置事業補助金	700
農地・農業用施設災害復旧工事業補助金	2700

MOと協議を行い、取り扱い事項を事前に設定し契約している。

○農地農業用施設災害復旧補助金について

▼矢津田議員 田植えに間に合わず他の作物を作付ける場合に補助はあるか。

▽農林課長 現時点での補助は考えていない。

▼児玉議員 建設業者のラックの見直し内容は。

▽建設課長 一般分で1000万円まで、災害分で1500万円まで引き上げた。

令和3年6月
第2回定例会

●専決処分の報告

▼令和3年度一般会計補正予算(第2号) (承認)

●条例制定

▼南小国町副町長を置かない条例の制定について

【主な審議】

▼下城議員 この条例の必要性は。

▽総務課長 地方自治法上、置かなくてはならぬ、置かない場合には条例を定めなければならない。

【反対討論】

▼井上議員 あえて手間のかかる条例制定は必要ない。柔軟な対応が必要。

(原案可決)

●規約変更

▼熊本広域行政不服審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び熊本広域行政不服審査会共同設置規約の変更について

(原案可決)

【主な審議】
(一般会計)

補正予算 主な事業

(万円)

一般会計(第3号)	原案可決
役場入口通路改修	106
農協跡地購入	8591
部分林地元交付金	320
移住定住体験プログラム実施業務委託	357
ふるさと便業務委託	157
施設型給付費負担金	530
低所得子育て世帯支援特別給付金	350
令和2年7月豪雨宅地復旧補助金	800
予防接種委託料	210
きのこセンター修繕	1733
新型コロナ飲食店営業時間短縮協力金	256
農地・農業用施設災害復旧工事	1億2300
応急災害復旧機器使用料	300
介護保険特別会計(第1号)	原案可決
介護保険システム改修委託	64
水道事業特別会計(第1号)	原案可決
公営企業法適用業務委託	934
簡易水道配水管布設替工事	1460
公共下水道事業特別会計(第1号)	原案可決
公営企業法適用業務委託	652

○固定資産税減免について

▼佐藤議員 申請件数と減免額は。

▽税務課長 申請件数60件、減免額は今回予算計上した4970万円程度になる見込み。

○町民税特別徴収の支払方法について

▼森永議員 事業者からの現状の支払方法は。請求書についたQRコードを利用した新たな支払い方法などの導入は。

▽税務課長 ほとんどが口

座振込。新たな方法は今後検討していきたい。

○食関係事業委託について

▼井野議員 事業内容は、

▽農林課長 高原野菜の栽培や加工の技術を持っている方との交流、技術の継承など。後々は小国町との連携も検討中。

○新型コロナウイルス短営業協力金について

▼井上議員 対象事業は何件か、書類の提出方法は、

▽まちづくり課長 県が受け付けるため、件数は把握していない。算出方法は、前回行った支援事業の数値を基に算出。申請は県に直接。商工会や観光協会に情報提供している。

○ミステリーロードについて

▼井上議員 工事の着工時期は、ゲートの開放時期は、

▽建設課長 現在は登記手続き中。7～8月に入札。契約予定。県の意向も聞きつつ、阿蘇市と再度協議予定。

○部分林売却収入について

▼穴井千秋議員 場所や伐採時期は、

▽総務課長 下小原造林組

合と小原造林組合の全伐。8割を地元へ交付。伐採は予算議決後。

○学校給食について

▼矢野議員 配送業務を(株)SMOに委託した理由は、

▽まちづくり課長(前教育委員会事務局) 新たな委託先を検討する中で、安全性や確実性の体制整備が出来ていたのが(株)SMO。

○移住定住体験プログラム業務委託について

▼井野議員 プログラムの内容は、

▽まちづくり課長 矢ヶ部の生活体験施設を利用した体験活動を取り入れたもの。

○ふるさと便業務委託について

▼井野議員 昨年度の反響は、

▽まちづくり課長 南小国を思い出した、ありがたかった等のご意見を多数いただいた。

○庁舎修繕について

▼佐藤議員 具体的な場所は、庁舎別館建設との関係は、

▽総務課長 滑りやすくなっている正面玄関の防風

雨防雪対策。別館との関係性はない。

○駐車場借り上げについて

▼佐藤議員 具体的な場所は、

▽総務課長 小国緑化さんの裏手を職員用駐車場として確保。

○保育士募集について

▼佐藤議員 今年度の応募の状況は、

▽福祉課長 5月から6月にかけて保育士2名を募集したが、応募が無かった。9月の試験に合わせ、学校訪問を計画している。

○農協跡地購入について

▼穴井千秋議員 解体に関する町の対応は、

▽町長 協定書において、解体の責任は農協と解体業者にあることを確認した。事故やクレームのないように進めていくことが重要。農協等へ再度お願いしたい。

○水道事業

○配水管布設替について

▼井野議員 配水管や消火栓の維持管理は、今回の工事内容は、

▽建設課長 老朽化による漏水の事前予防は難しい。

その都度対応している。脇戸地区は昨年度の災害に伴うもの。黒川地区は水量不足によるもの。

▽総務課長 消火栓は、各消防団に管理点検をお願いしている。

●固定資産評価審査委員会委員の選任

(波居原下) 大塚嘉久氏

同 意

●繰越明許費の繰越計算書の報告

主な質疑

▼穴井則之議員 例年に比べ件数が多いように思うが、

▽総務課長 コロナ禍ということで事業が遅れた。また、コロナ関係臨時交付金を使った商工費関係3件、教育費関係2件の事業も影響している。

●新型コロナウイルス禍によるコメ危機の改善を求める請願賛成討論

▼下城議員 コメの余りは厳しい状況になるのは目に見えている。主旨に賛成できる。国にも大きな声で請願すべき。

(不採択)

6月定例会（6月15日～16日）採決結果

議案番号	事 件 名	採決結果	穴井則之	佐藤毅	井野和哉	井上則臣	矢野道夫	下城孔志郎	児玉秀次郎	穴井千秋	森永一美
請願第1号	新型コロナウイルス禍によるコメ危機の改善を求める請願	不採択	○	×	×	×	×	○	×	○	×
議案第45号	南小国町副町長を置かない条例の制定について	可決	○	○	○	×	○	×	○	○	○

○…賛成、×…反対、欠…欠席 ※賛否の分かれた案件のみ掲載。

農協跡地を購入決定！



所在地：大字赤馬場 1905 番地外 4 筆

敷地面積：6174.21 m² 購入費用：8591 万円

(土地代：2574万円、解体費用：6017万円)

経済建設常任委員会報告

委員長 矢津田道夫

6月定例議会において、町が指定管理する「南小国町きのこ菌床培養施設」改修費の予算が計上されました。

この事について、6月10日に経済建設常任委員会を開き、担当課長より説明を受けました。その詳細について、報告致します。

きのこセンターにおける令和2年度の販売実績は、過年度と比べて伸びており、舞茸・きくらげ生産の経験が短いながらも、確実な成果を上げています。今後は、それを上回る勢いで生産や販売が行われることが見込まれています。

しかし、現在の施設は、平成7年の建設以降25年が経過し、老朽化しているため、今後の生産量の維持や拡大が困難な状況です。施設内においては、一部の培養室や発生室が、以前の指定管理者の頃から、故障により使用されていません。

そのような事により、新たな販路としてのインターネット販売の

さらなる需要が拡大しているものの、一定量の安定した生産が不可能となっています。

これらの問題解決や需要に対応し、更なる売上増を行い、また、地元の特産品としての需要を推進するために、生産機能の強化を行うものです。

このような説明を受け、町の特産品として、年間を通しての生産量確保・売上向上のための新たな販路拡大に取り組んでもらいたいなど、各委員から意見や要望が出されました。

今回のきのこセンターだけではなく、町所有の他の指定管理物件についても、今後見直しが必要となるものがあるのではないかと感じました。



きよらかアサで販売されている「まいたけ」と「生きくらげ」

議員定数削減に関する

特別委員会報告

委員長 井上則臣

昨年3月、特別職及び議員報酬を削減前に戻す条例が可決された折り、議員定数削減に関する特別委員会が発足され、当委員会は全協を含め、近隣町村議会を訪れ、検討を重ねて参りました。

数か質かが問われる中、今後あらゆる角度から協議し、今12月定例議会までには決定して参りたいと思います。

阿蘇郡議員定数の比較

(単位：人)

町村名	面積(km ²)	住民基本台帳人口	議員定数	現議員数		
				男性	女性	合計
南小国町	115.9	3,893	10	9	1	10
産山村	60.7	1,432	8	7	1	8
高森町	175.1	6,193	10	10	0	10
西原村	77.2	6,748	10	9	1	10
小国町	136.7	6,802	10	8	2	10
南阿蘇村	137.3	10,355	14	13	1	14

※ 数値は令和3年6月末時点のものである。

議員が就任している各種委員会委員

委 員 等 名	選任数	所管課	委 員 等 名	選任数	所管課
町議会議長	1名	議会事務局	農業振興地域整備促進協議会委員	2名	農林課
町議会副議長	1名	議会事務局	新農業推進協議会委員	2名	農林課
総務文教常任委員会	5名	議会事務局	地域公共交通会議委員	2名	まちづくり課
経済建設常任委員会	5名	議会事務局	小国町南小国町共有財産協議会委員	3名	総務課
議会運営委員会	5名	議会事務局	民生委員推薦会委員	2名	福祉課
広報調査対策特別委員会	4名	議会事務局	地域福祉推進委員会委員	1名	福祉課
環境問題調査特別委員会	5名	議会事務局	地域包括支援センター運営協議会委員	1名	福祉課
議員定数削減に関する特別委員会	9名	議会事務局	地域密着型サービス運営委員会委員	1名	福祉課
小国町外ヶ町公立病院組合議会議員	2名	総務課	子ども・子育て会議委員	1名	福祉課
阿蘇広域行政事務組合議会議員	2名	総務課	ケーブルテレビ放送番組審査会委員	2名	まちづくり課
監査委員	1名	総務課	バイオマスボイラー導入事業評価委員会委員	2名	農林課
奨学生選考委員会委員	2名	教育委員会	男女共同参画審議会	1名	福祉課
下水道事業推進委員会委員	3名	建設課	今後の農業を考える協議会	2名	農林課
町有入会林野等評価委員会委員	3名	総務課	農協跡地利活用検討委員会	2名	総務課
表彰審議委員会委員	3名	総務課	林業を考える会	2名	農林課



佐藤 毅
議員

高齢者向け住宅の整備を

【議員】高齢化が進む中、一人暮らしや町営住宅の高層階で暮らす高齢者が増えている。高齢者向け住宅の整備が必要と考えるが。

【町長】高齢者向け住宅は将来的な財政負担等を考慮し、公設公営ではなく、民間業者等と連携し整備を進めたい。

行政資料の電子保存へ向けて

【議員】環境保全やコスト削減の観点から、行政資料等の電子化保存に向けて取り組みを進めるべき。

【町長】一部電子化に取り組んでいる。保存場所の省スペース化や書類の紛失・劣化防止、情報保護等のメリットがあり、積極的に検討していく。費用負担等の課題も多いが早急に取り組む必要がある。

【議員】農協跡地アンケートで、高齢者福祉の充実を重視しての活用を望む意見が多かった。サービス付高齢者住宅や小規模多業種が集まる場所と一緒に整備しては。空き家を改築して整備する方法もある。積極的な自宅改築のために、リフォーム補助金の見直しが必要。

【町長】そのような施設が、町中心部にあることが理想であると認識している。空き家の利活用はコーディネートを含め協議していく。リフォーム助成は一体的に考えていく。今後議論を進める。

【議員】紙をなくすことは経費削減、業務の効率化、SDGsへの取り組みにも繋がる。

【町長】できるところから優先順位をつけて進めていく。

【議員】水道検針システムの自動化に取り組んでもらいたい。多額の費用負担となるが将来的には必要。

【建設課長】電気、ガスの検針システムがある。交換時期に向けて先進的な技術を導入できるよう、調査検討をしていきたい。



井野 和哉
議員

世界遺産登録に向け
町の取り組みは

【議員】阿蘇の世界文化遺産の登録に向けて、様々な取り組みがされていると思うが、町民にはその動きが見えていない。これからいかに、草地や森林景観を維持しながら、登録に向け進んでいくのか。



阿蘇の景観を守る宣言を採択した
阿蘇世界文化遺産登録推進協議会



役場入口で実施された巡回パネル展

【町長】文化審議会の審査を受け、いくつかの課題が出され、それらを解決・解消しながら現在に至っている。また、文化資産や緩衝地帯の範囲が定まっておらず、示せない状況である。

【議員】町としては自然景観を維持していく上で、野焼きの負担軽減を図っていくべきではないか。

【まちづくり課長】あくまで現状維持が基本なので、負担軽減のために山林を伐採したり新たに道を整備していくのが、どこまで可能で何がダメなのかを見極めながら、対応していきたい。



町の農業について議論されている
「今後の農業を考える会」

【議員】農業は本町の経済や景観保持、豪雨災害を減少する面からも重要だ。また、後継者や農業従事者の減少で、衰退の一途を辿っている。この現象を断ち切り再生する機会は今しかないと思うが、いかなる対策があるか。

農業地再生と拠点づくりを



井上 則臣
議員

【町長】農業は町の持続には重要な産業である。所有者は、資産的保有傾向が強く集約化が進まないが、農業委員会重点地区を決め農地集積化を開始している。

【議員】荒廃地、放棄地、崩壊した水路を再生するには、個人産業から組織産業化し、販路や加工等を担う部署・拠点が必要だと思うが、(株)SMO等の協力体制はできないか。

【農林課長】農業委員や最適化推進委員をはじめ、農林課・(株)SMOも含め再生化・組織化は充分考えている。耕作放棄地、荒廃地など、将来を見据えた行動や意見を重要視し反映させていく。



きよらカフェで販売されている地産地消のお弁当



役場庁舎別館の杭打ち工事

【議員】庁舎別館工事や木材拠点施設増築外構工事が進んでいる。町民には不信任を抱く方が多い。町民への周知、必要性の説明が足りないのではないか。

【町長】木材拠点施設は木工製品の開発製作・販売を行い、木材普及を行う施設。作業スペース確保

建設の必要性について
更なる町民説明を



児玉 秀次郎
議員

のために増築する。庁舎別館は1階に会計室、金融機関店舗、ATMを設置し、利用者の利便性が格段に向上する。2階は会議室を設置し、会議室不足を解消。災害時は避難所として活用する。今後、広報等で分かりやすく町民に伝えていく。

【議員】農協跡地をどのようにに活用していくのか。

【町長】農協跡地はコンパクトシティの考えに基づき、まちづくりのために必要。町民の幸福度向上に寄与できる空間の創出に努める。



旧星和小学校に設置している大型機械「ショップボット」

荒廃農地の推移（農業委員会調査）

年度	荒廃農地（単位：㎡）		
	再生可能	再生困難	計
平成28年度	63028	18435	81463
平成29年度	50266	25833	76099
平成30年度	47145	40663	87808
令和元年度	54318	53936	108254
令和2年度	55006	85216	140222

※「再生可能農地」は農地へ戻すことが可能な土地。
「再生困難農地」は山林・原野化になっている土地。

耕作放棄地の今後は？



下城 孔志郎
議員

【議員】増加する耕作放棄地の解消にはなかなか具体的な方策が見つかからない。今後、耕作放棄地に太陽光発電システムを置いてはどうか。また、設置に対する補助を設けてはどうか。

【町長】自然エネルギーを活用することは必要。大規模な太陽光発電は景観保護の観点から導入すべきではないとしている。農地転用を伴う太陽光発電の導入は、農業衰退に繋がる恐れもあるので、継続的に農業ができる営農型太陽光発電などの設置を推奨し、農地転用せずに利用する方法を求めたい。

【まちづくり課長】再生可能エネルギーの導入に向けた補助が今年度からある。主に住宅設置の太陽光発電・蓄電池だが、住宅に隣接する農地転用を伴わない家庭菜園等の土地への設置は対象となる。



農業委員による農地パトロール

今後の観光施策は？



森永 一美
議員

【議員】コロナ禍において最もダメージを受けた産業は観光業と言われている。本町も町内総生産の44%を観光関連産業が占めており、経済ダメージが大きい。今後の観光施策は何かお考えか？

【町長】国・県の事業展開を踏まえ、商工会や観光協会など関係機関と協議・連携しながら、現場の声に沿った形で対応していく。
※補足 7月に商工会・観光協会・旅館組合等との話し合いを重

「ごみ袋も家庭の実態に即したサイズを！」

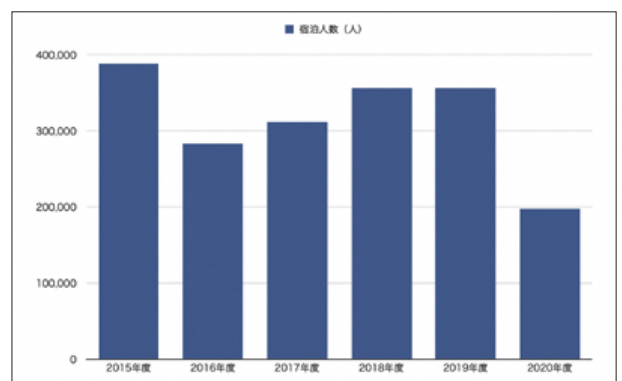
【議員】家族サイズのコンパクト化・高齢化が進む中、指定の燃やすぐみ袋（黄色）の容量が大きすぎるのと声を度々聞く。環境配慮の面からも家庭の実態に則した、小さいサイズのごみ袋があればと

考える。また、その小さいサイズのごみ袋をレジ袋として販売する仕組みを阿蘇広域で導入してはどうか。

【町長】阿蘇郡市の各市町村の意見を踏まえた上での判断になると思うが、阿蘇広域行政事務組合の中でも話をしていきたい。

ね、次のような経済対策予算を臨時議会で可決しました。
○スクラッチカードキャンペーン
○町外向け観光商品券発行
○観光プロモーション
○町民向け商品券発行

入湯税推移





【議員】有害鳥獣による農地・山林への被害が非常に深刻な状態であり、今後新たな対策も必要だと思うが、今後の有害鳥獣対策は、

【町長】今後の新たな対策として、全国の事例を踏まえ、個人での対策ではなく、地域に住むみんなができることを一緒にやっていくことが重要だと思う。

今後の有害鳥獣対策は



穴井 則之
議員

鳥獣被害対策マニュアルの周知と、電柵メーカー等による講習会を実施していく。

【議員】駆除隊を編成して駆除に努めているが、捕獲を行うことの怖さ、危険性を感じている。有害鳥獣を寄せつけない集落づくりが必要。

【農林課長】狩猟免許の取得について積極的に進めていき、集落ごとに対策を強化していけるよう、取り組んでいく。

【議員】有害鳥獣がもたらす災害リスクが大きな社会問題であることを認識して、いろんな対策で被害が減少していくことを願う。



令和3年 議会日誌

5月	12	第2回臨時会、議員勉強会
	21	阿蘇地域振興デザインセンター監査
	22	南小国中学校体育大会
	24	阿蘇地域振興デザインセンター第2回理事会
	27	県町村議長会第1回理事会
6月	1	県町村議長会臨時総会
	2	阿蘇広域議会運営委員会
	3	社会福祉協議会第1回理事会
	8	全員協議会、議会運営委員会
	10	経済建設常任委員会、庁舎別館建設工事地鎮祭(写真①)
	15～16	第2回定例会
	17	議会広報調査対策特別委員会
	22	阿蘇地域振興デザインセンター第3回理事会
	24	議会広報調査対策特別委員会取材(写真②)
7月		小国高校の魅力化と永遠の発展の会総会
	28	社会福祉協議会第2回理事会
	30	阿蘇広域議会臨時会
	6	全員協議会
	14	第3回臨時会
	16	阿蘇市町村議長会正副議長・委員長研修会(写真③)
	19	議会広報調査対策特別委員会
	20	県町村議長会常任委員長・議会運営委員長研修会
21		国道212号改修促進期成会定期総会



写真①



写真②



写真③

武田 清さん

家族の温かさとともに美容室を開業
自分に向き合い、夢を叶える3児の母

プロフィール

小国町生まれ、樋の口在住。小国高校で同級生だった哲治さんと11年の遠距離恋愛を交わらせ29歳で結婚。現在、哲治さんのご両親と3人の子供と7人家族。2019年3月、夢チャレ(※)を活用し、自宅敷地内に「山の中の小さな美容室 HaruHina」を開業。

※夢チャレ＝夢チャレンジ事業推進補助金の略



…小国郷に帰ってきたキツカケは何ですか？

小さい頃からの夢だった美容師になり、福岡で働いていました。いつか結婚したいと思いつつ、店長になりスタッフ15名を抱え、美容師のお仕事面白くて充実していました。

そんな時、父が他界しました。親はいつまでもいるんじゃない、母のそばにいて親孝行したいと小国郷に帰ることを決めました。帰郷と同時に結婚し、その後3人の子供にも恵まれました。少しですが農作業の手伝いもして、中原小の子供も達にも原木椎茸の授業をしたこともあります。

…ご自身の美容室を構えた経緯を教えてください。

中原で子育て中の友達が美容室を開業しました。とても衝撃を受け、心が落ち着きませんでした。

「私はもう美容とは離れた」「子どももあるし無理」と美容師をできない理由を探しては自分に言い聞かせ、自分の気持ちに蓋をしていたことに気付



選果場の外壁を使った棚は哲治さん手作り。来る人を歓迎するかの如く咲く草花はお義母さんが手入れされ、ウェルカムボードは子ども達の力作。家族みんなが築き上げたぬくもりある空間。

き、大泣きしました。

葛藤しながら過ごしていたある日、お義父さんに「美容室するとやる？」と言われ、とてもビックリしました。夫が私のいないところで「美容室をさせて欲しい」と両親にお願いしてくれていたようです。

両親も応援してくれ、きゅうりの選果場として使っていたスペースに美容室を設けさせてもらえることになりました。夢チャレの存在もお義父さんが教えてくれました。

…実際に夢チャレを使ってみて、どうでしたか？

とても助かりました。開業すると決断するまではとても勇気がいりますし、それは怖いことでもありました。お店を造ってお客さんは来てくれるか、借金だけが残るのではないかと。そんな金銭面の心配を軽くして、開業を後押ししてくれたのが夢チャレでした。もし可能なら、一部だけでも先に支給してもらえると更に有難いです。

…今後どんなお店にしたいですか？

冬の寒さが厳しい小国郷が待ち望む「春の日向」のような温かい場所になるのかなと思っています。ただ髪を切るだけの場所ではなく、お客さんと家族のように長く温かく繋がっていければ嬉しいです。

取材・文・写真：森永一美



現在の広報委員会が結成し、三年目を迎えました。

専門的で一方的な報告だけではなく、町民皆様と議会とを繋ぐことができるような存在になるべく、身近で分かりやすい議会だよりを目指しております。

読まれた方に一つでも「手にして良かった」「へえ」と感じていただけることを掲載したいと思っています。きっとその小さな「へえ」が積み重なり、町政や議会への関心度向上に繋がると信じています。

今回は新しい取り組みとして、過去の議会で審議した事柄の追跡取材特集を組んでおります。小国杉を使った循環型のエネルギー利用について町内各所を取材し、子ども達へ美しい南小国を繋ぐための一つの手法だと感じました。取材にご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

今後も町民皆様と議会とを繋ぐ役割を全うできるよう、良い物は残し、変えるべき物は労をいとわずにより良く改善して参ります。感想やお気付きのことがございましたら何なりとお知らせいただけますと幸いです。

(森永 一美)

発行責任者

議長 平野 昭夫

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美

副委員長 井上 則臣

委員 井野 和哉

委員 佐藤 毅